

きょうと女性農業委員の会だより

宇城久綴喜ブロック編集版

あゆみ

Vol.5



今回は、
宇治・城陽・久御山・八幡・
京田辺・井手で活躍する
みなさんの声をお届けします！

久御山町



若い農業者の将来のために 農業者年金の加入促進を

昨年、農業委員になって農業者年金の研修を受け、初めて農業者年金のことを知り、自分の息子と知り合いに声をかけて加入をしてもらいました。

久御山町は比較的若い農業者の多い地域ですが、農業の将来を考えると決して安心はできません。

今、頑張っている若い人たちの将来の不安を少しでも軽くし、安心して農業を続けていってもらうために、この年金は必要であり、良い制度だと思います。これからも、ほかの農業委員の方々とも協力して、対象者に声をかけ、加入促進に努めていきたいです。

記事制作：久御山町／三宅委員・吉川委員

八幡市



「婚活畑」でつかまえて♡

八幡市農業委員会では、新しい取組として、昨年、婚活サポート事業「婚活畑」を開催しました。

最初は申込者もなかなか集まらずどうなることかとやきもきしたものの、最終的には募集人数を超える男女各21名の参加があり、結果、9組ものカップルができました。

じゃがいも堀りと大根の収穫の農業体験を取り入れたところ、男性が女性を助けながら和気あいあいと盛り上がり、農業の楽しさも少しは伝えられたかなと思います。「婚活畑」は今年秋にも開催予定で、現在参加者を募集中です。

また、八幡市農業委員会広報誌「農政やわた」に女性委員のページを取り入れてもらって、地元で頑張っている女性農業者の紹介していくことになりました。このような広報活動などを通して、少しずつですが女性委員としての役割を見つけていきたいと思っています。



記事制作：八幡市／谷口委員・岡田委員

京田辺市



もうかる農業を目指して!!

TPPや農協改革など農業をとりまく状況が悪化する中、今ある農地を減らさない!! ため、いろいろな活動を行っております。

その中で少しでも“もうかる”農業を目指すため、荒廃農地にレモンやじゃばらの苗木を植える活動を行っています。5～10年の歳月が必要ですが、うまく実がなり収穫できれば、ジュースや飴などの加工品販売につながっていきます。

もうかるとエエナ!!



記事制作：京田辺市／奥西委員・森田委員・山下委員・木村委員・中本委員

宇治市

農業委員としての1年を振り返って

昨年7月に初めて農業委員となり、多くの農業関係の方々と接する機会を頂けて、感謝の思いでいっぱいです。

宇治市には現在、常設の農産物直売所が一つもありません。6月に「直売所の進捗」「今後の農業委員会のありかた」などを議会質問で取り上げました。

食育の大切さも幼稚園勤務、子育てを通して痛感しているので、少しでも農業に携わる方々のお役に立ちたい思いで、今後も全力で頑張っています。

記事制作：宇治市／長野委員

城陽市

城陽市の特産品と四季の風景



雨が降り続ける9月のスタートとなりましたが、城陽のハス畑は薄ピンク色の花と大葉の緑のコントラストがとても美しい季節です。

今、いちじくの出荷がピークを迎えており、市内の農産物直売所の城陽旬菜市、五里五里市でも朝採れの完熟いちじくが午前中で完売します。寺田あらす芋の出荷も始まり、9月22日から10月31日までの期間、あらす芋掘り農園が開園されます。

また、先般の第69回全国茶品評会では、碾茶の部において城陽市の菊岡政次さんが200点満点で農林水産大臣賞を受賞、産地賞も城陽市が1位に輝きました。2月中旬からは青谷梅林に、城州白の真っ白な花が咲き誇り、地下水源の豊富な土地柄を活かして栽培された、カラー、花菖蒲、カキツバタの出荷が相次ぎました。これらの花は市を代表する農産物であるだけでなく、四季折々の風景を彩り、観光にも一役買っています。

記事制作：城陽市／八島委員・熊谷委員

井手町

秋の味覚を堪能！

さっぱり栗ごはん

材料【4人分】

- 米……3カップ
- 栗……20～25個
- 塩……小さじ1
- 酒……大さじ3
- A ●水……3と1/3カップ
- 昆布……はがき大1枚

作り方

- ①栗は熱湯に15～20分浸け、皮をむきやすくする。皮をむいたらすぐに水に浸け、何度か水を替える。水が濁らなくなったら2～4つ割りにする。
- ②米は炊く1時間前に洗ってザルにあげ、水を切る。
- ③炊飯器に①②とAを加え、炊く。

ポイント！

皮をむくとき、渋皮を少し残した方が栗の風味がでます。



記事制作：井手町／奥田委員



事務局からのお知らせ

小長谷道子さんの「黄綬褒章受章を祝うつどい」

会の元副会長（宮津市元農業委員）の小長谷道子さん（写真右）が、27年春の黄綬褒章を受章。去る7月21日に祝賀会が催され、乾会長（写真左）が出席しました。



小長谷さんは会の設立当初より役員として活躍され、現在「女性農業委員を応援する会」メンバーとして私たちの活動を支援してくださっています。女性農業委員の励みとなる受章です。

